

古河電工グループ理念

基本理念

世紀を超えて培ってきた素材力を核として、絶え間ない技術革新により、真に豊かで持続可能な社会の実現に貢献します。

経営理念

私たち古河電工グループは、人と地球の未来を見据えながら、

- 公正と誠実を基本に、常に社会の期待と信頼に応え続けます。
- お客様の満足のためにグループの知恵を結集し、お客様とともに成長します。
- 世界をリードする技術革新と、あらゆる企業活動における変革に絶えず挑戦します。
- 多様な人材を活かし、創造的で活力あふれる企業グループを目指します。

行動指針

- 1.常に高い倫理観を持ち、公正、誠実に行動します。
- 2.あらゆる業務において革新、改革、改善に挑戦し続けます。
- 3.現場・現物・現実を直視し、ものごとの本質を捉えます。
- 4.主体的に考え、互いに協力して迅速に行動し、粘り強くやり遂げます。
- 5.組織を超えて対話を重ね、高い目標に向けて相互研鑽に努めます。

古河電工グループ企業行動憲章

私たち、古河電工グループの役職員は:

- 1.古河電工グループの社会的な責任を十分認識し、「企業活動」「環境保護活動」「社会貢献活動」を通じ、全てのステイクホルダー(利害関係者)との健全で良好な関係を維持・向上させ、社会の持続的な発展に貢献します。
- 2.人類社会の発展に有益な商品の開発や信頼される商品・サービスの提供を通じて、社会的に有用な企業を目指します。
- 3.国内外の法令を遵守し、社内規則および社会規範や倫理等の社外のルールに従って行動します。
- 4.財務諸表をはじめとした企業の情報は、事実を適正に表示し、適切に開示します。
- 5.反社会的勢力には毅然とした態度で対応します。
- 6.地球環境の保護に配慮した行動に努めます。
- 7.国際社会の一員として、人権、文化、伝統を尊重します。
- 8.社員が働きがいやゆとりと豊かさを感じられる企業を創ります。
- 9.世紀を超えて培ってきた社会との絆を継承・発展させ、より良い次世紀を来るべき世代に引き継いでいくために、本業を通じた社会貢献はもとより、「次世代育成」「スポーツ・文化振興」「地域社会との共生」を軸として、着実にたゆまぬ社会貢献活動を行います。

編集方針

古河電工グループでは、2007年2月の組織変更にてCSR推進本部を発足させ、CSR経営の強化を図りました。これに伴い2007年版より報告書の名称を「環境・社会報告書」から「CSR報告書」と改め、より幅広く社会的・経済的側面を含めた情報を掲載しています。

2009年版では、真に豊かで持続可能な社会の実現に向けて喫緊の課題である地球温暖化問題に対する当社グループの取り組みについて特集しています。

報告対象範囲

●対象組織

古河電気工業および関係会社を含めた古河電工グループを対象としています。

●データの範囲

古河電工および連結対象子会社107社を対象としています。ただし、データの集計範囲が異なる場合には、該当箇所に範囲を明示しています。

●対象期間

2008年4月1日～2009年3月31日

※ 一部にはこれまでの取り組みや2009年度の活動を含んでいます

●参考にしたガイドライン

環境省の「環境報告ガイドライン2007年度版」

●ホームページ

<http://www.furukawa.co.jp/csr/>

お問い合わせ先

古河電気工業株式会社
CSR推進本部 管理部
TEL:03-3286-3044 FAX:03-3286-3920

目次

- 1 古河電工グループ理念／編集方針
- 3 古河電工グループ概要
- 5 ごあいさつ

7 特集 地球温暖化防止に向けた取り組み

- 9 製品開発における取り組み
- 11 生産における取り組み
- 12 物流における取り組み

13 マネジメント

- 13 コーポレートガバナンス
- 14 CSRマネジメント

16 環境への取り組み

- 17 環境基本方針
- 18 環境マネジメント
- 19 マテリアルフロー
- 20 目標と実績
- 21 環境調和製品推進活動
- 22 環境配慮生産活動
- 24 化学物質の管理
- 25 環境リスク管理
- 26 環境会計

27 社会への取り組み

- 28 お客さまとの関わり
- 29 株主・投資家との関わり
- 30 調達取引先(サプライヤ)との関わり
- 31 従業員との関わり
- 35 社会・地域との関わり
- 39 海外グループ会社の取り組み
- 41 第三者意見
- 42 年表